

資料編

砂川市緑の基本計画 用語解説（１）

NO	頁	用語	解説
1	27、28、 30 ほか	市街地	本計画の中では、用途地域の範囲を指します。（参考：p.19）
2	1、12、 104	ゼロカーボン、 脱炭素、（カー ボンニュートラ ル）	二酸化炭素などの「温室効果ガス」について、排出量から吸収量と除去量を差し引いた合計をゼロにすることを意味します。 排出せざるを得ない「温室効果ガス」については同じ量を植林、森林管理などによって「吸収」または「除去」することで、差し引きゼロ、正味ゼロ（ネットゼロ）を目指す考え方はです。
3	43	グリーンインフラ	社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において、自然環境が有する多様な機能（生物の生息・生育の場の提供、良好な景観形成、気温上昇の抑制等）を活用しようとする考え方はです。これにより、持続可能で魅力ある国土づくりや地域づくりを進めることを目指します。
4	38	ストック効果	「ストック効果」とは、整備された社会資本が機能することによって、整備直後から継続的に中長期にわたり得られる効果とをいいます。 一方、社会資本整備の効果を表す言葉として用いられる「フロー効果」は、公共投資により派生的に創出される生産、雇用、消費等の経済活動により経済全体が拡大する効果のことをいい、近年は社会資本整備の本来の役割である「ストック効果」を最大限発揮できるよう取組む必要性が強調されています。
5	97、98	都市公園ストック	都市公園のストックには、防災性向上、環境維持・改善、健康・レクリエーション空間提供、景観形成、文化伝承、子育て・教育、コミュニティ形成、観光振興、経済活性化などのストック効果があるとされています。
6	39、79、 82、97、 99	（公園施設） 長寿命化計画	社会資本全体における課題として、ストックの増大及び老朽化の進行に対し、必要な社会資本整備とのバランスを図りつつ既存ストックの所要の機能を維持することが必要となっています。そのため、厳しい財政状況の下、安全・安心を確保しつつ、重点的・効率的な維持管理や更新投資を行っていくため、施設の長寿命化計画を策定し、計画に基づく維持管理・更新を適確に行う取り組みが進めています。 都市公園の施設についても、同じように計画に基づく安全性の確保、機能の確保及びライフサイクルコスト縮減の取り組みが始められているところです。

砂川市緑の基本計画 用語解説（２）

NO	頁	用語	解説
7	46、76、 77、86、 88、92、 94、99、 100、 104	水と緑のネットワーク (緑のネットワーク)	<p>水や緑の連続した空間や拠点などからなる骨格軸のことで、それらを基盤とした面的な広がりを形成することにより、水や緑の持つ機能を複合的・効果的に発揮する取組みです。</p> <p>水と緑のネットワークの形成は、都市の熱環境の改善、生物多様性の確保、防災性の向上、良好な景観の形成、緑豊かで快適なレクリエーションの場の創出、散歩やサイクリングを楽しめる緑の生活空間ネットワークの形成といった機能など、都市に自然を取り戻し、生き物との触れ合いや豊かな四季感のある、住みやすく快適な環境を形成する効果が期待されます。</p>
8	56	アイストップ	<p>景観や空間において、人の注意を引き、目を停める、目を向けるように存在している物体などのことをいいます。</p>

